

令和7年3月12日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立上目黒小学校
学校長

令和6年度 目黒区立上目黒小学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施日時

- (1) 第1回 令和6年9月28日(土) 11時50分～12時30分
(2) 第2回 令和7年1月25日(土) 11時50分～12時30分

2 参加者

学校評議員 6名
校長
副校長 計8名

3 評価の結果等(肯定的評価の割合と前年度との比較 数値単位%)

評価項目	アンケートの結果分析 ◎成果 ●課題	次年度の教育活動の改善点	学校評価委員会での意見
1 学校全体について ・学校の雰囲気、教職員の対応、地域との連携、教育活動への満足度について(質問1～4)	◎保護者は学校での児童の様子を肯定的に捉えている。また、本校の教育活動に概ね満足している。教職員の対応について、保護者からの肯定的評価が昨年度を大きく上回った。 ◎教職員が保護者、地域と連携しながら誠実に対応したことが結果につながった。	・児童全体を見ると、概ね満足している様子が見られるが、個人では課題を抱えている児童がいる。児童に対する細やかな対応と、校内組織委員会や関係諸機関と連携しながら課題解決に努める。	・学校公開や行事での学校の雰囲気はよく、どの児童も楽しく生活しているように感じる。学校の重点でもある地域と連携した教育活動をこれからも実践してほしい。
2 教育目標について ・児童の実態に合った教育目標、指導の重点について(質問5)	◎保護者の評価が昨年度を大きく上回った。 ◎本校の教育目標に対する保護者の教育活動への理解が高まった。 ●高水準ではあるが、教職員の数値が下が	・学校経営方針を基に教育活動を展開するとともに、教職員と管理職の面談時にその振り返りをするなどして教育目標を意識した指導となるよう徹底する。 ・重点目標の一つであ	・教育目標を地域に周知することは難しいかもしれないが、学校行事や公開授業の際に、教育目標や指導の重点、特色ある教育活動が見えるような工夫があるとよい。

	<p>ったため、教育目標を意識した教育活動の充実が必要である。</p>	<p>る地域と連携した学校を実現するために、地域のゲストティーチャーを招いた授業や、目黒区や町会と連携した授業を充実させる。</p> <p>・地域の行事は、土曜日学校公開の日の午後と合わせ、保護者・地域・児童・学校が参加しやすいようにする。</p>	
<p>3 心の教育について</p> <p>・道徳科の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力向上のための取組について（質問6）</p>	<p>◎保護者、児童ともに道徳的指導に対して、昨年度よりも高い評価となった。</p> <p>◎全教育活動を通して、命を大切に、思いやりの心をもって生活する指導をすることができている。</p>	<p>・道徳地区公開講座の授業や公演の内容を充実させる。</p> <p>・いじめや不登校の案件については、組織委員会を開催するとともに、関係諸機関とも連携して解決に努める。</p>	<p>・不登校児童について、理由が多岐に渡っているため、どのように対応すればいいのか難しい面がある。</p> <p>・関係諸機関と連携しながらすすめていくことも増えるだろう。</p>
<p>4 学習指導等について</p> <p>・学力向上のための授業改善、少人数指導の充実、主体的に学習に取り組む態度の育成について</p> <p>・情報端末の活用について（質問7～8）</p>	<p>◎保護者において、授業改善に対して昨年度よりも高い評価となった。</p> <p>◎デジタル教科書や共同学習支援ソフトなどの教育用アプリ、大型電子黒板を使用した授業がスタンダードになり、授業改善、教員の資質・能力の向上につながった。</p>	<p>・ICTを活用した授業づくりの事例を教員同士が共有し、実践できるように校内研修の充実を図る。</p> <p>・校内研究では「はかせタイム」を中心に、探究的な学習を実現できるように授業を改善する。</p>	<p>・児童が学習用情報端末を操作している授業に驚いた。児童によってスキルの差があるので、パソコンスキルを身に付けるという課題がある。社会では必要なスキルなので、教科に関係なく指導が必要になっていると感じた。</p>
<p>5 体育・健康教育について</p> <p>・体力向上、健康の促進のための取組について</p>	<p>◎保護者において、健康促進の取組に対して昨年度よりも高い評価となった。</p>	<p>・体力テストの結果をふまえ、本校のパワーアップタイム（体育的活動）の内容を</p>	<p>・児童の数値が下がったのは、学校だけでなく、休日や放課後の時間をどう過ごし</p>

<p>(質問9)</p>	<p>●高水準ではあるが、児童、教職員の数値が昨年度よりも下がったため、体育科の授業だけでなく、体育的活動や食育の充実が必要である。</p>	<p>検討する。 ・保健指導や給食指導では、体と健康についての指導を重点目標とする。</p>	<p>ているかの影響もあるのではないかと。外で遊ぶ機会や場所が昔に比べ、減っている。</p>
<p>6 特別活動について ・学校行事、たてわり班活動、クラブ・委員会活動の充実について (質問10)</p>	<p>◎保護者や地域の方々の評価が昨年度よりも大幅に高まった。 ◎人数制限なく保護者が参観できる行事が増えた結果、学校の教育活動を伝えられる機会が増えた。 ◎異学年交流（たてわり班）を重視して活動を行うことができている。</p>	<p>・児童が中心となった活動になるよう、協議する時間を確保したり、実践できる機会を設定したりする。 ・たてわり班活動の内容を充実させる。</p>	<p>・学校行事の公開が増え、学校の様子が分かりやすくなった。児童が楽しそうにしている姿が多く見られる。</p>
<p>7 学校生活全般について <生活指導> ・学習や生活規律、落ち着いた学校生活について (質問11)</p>	<p>◎保護者、地域ともに昨年度よりも高い評価となった。 ◎学習や生活のきまりを見直し、各学級の指導を統一したことが児童の落ち着いた学校生活につながった。 ●高水準ではあるが、高学年児童の数値が昨年度よりも下がったため、よりよい環境づくりが必要である。</p>	<p>・引き続き、学習や生活規律に関する指導は、学校全体で共有し、取り組む。 ・上目黒小学校の生活のきまりは教員だけでなく、児童の意見を反映させ、自分たちでよりよい学校づくりをしていく意識を高めさせる。</p>	<p>・ここ数年を比較すると落ち着いて学校生活を送っている児童が多い印象である。地域の公園等で遊んでいる様子を見てもマナーよく過ごしている姿が多い。日頃の学校や家庭での教育が生きているのではないかと。</p>
<p><防災教育・安全指導> ・事件、事故や災害に関する安全教育について (質問12～13)</p>	<p>◎どの調査対象においてもおよそ9割の高い評価となった。 ◎避難訓練、セーフティ教室、情報モラル教育などの内容を</p>	<p>・引き続き、避難訓練、セーフティ教室、情報モラル教育を実施する。 ・防災教育や情報モラル教育では、目黒区</p>	<p>・防災に関しては、地域も関係していくため、防災訓練など連携できたらよい。</p>

	態に合ったものにするなど充実させることができた。	防災課やICT支援員と連携し、指導を充実させる。	
<p><幼・保・小・中連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校、同じ中学校区の小学校、近隣の幼稚園・保育園との連携について（質問14） 	<p>◎昨年度よりも評価が高い。年3回の小中連携授業、中学生の職場体験、保育園児の給食体験・1年生との交流、他校の研究発表会への参加など、連携を深め、教育活動をすすめた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携授業、中学生の職場体験や保育園児の給食体験、他校の研究発表会への参加などを継続するとともに内容を充実させる。 ・連携の様子を学校だよりやホームページで紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校同士がどのように連携しているのか保護者には見えにくい面がある。学校だより等で情報を発信する際に、実際の様子を伝えるなどしてはどうか。
<p>8 情報の発信、家庭・地域との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育活動に関する情報発信について（質問15） 	<p>◎保護者、地域ともに昨年度よりも高い評価となった。</p> <p>◎保護者連絡システムH&Sを活用した情報発信が定着し、全家庭に確実に配信することができている。</p> <p>◎学校ホームページの内容を精選し、閲覧しやすくなった。</p> <p>●教員が学級の様子を伝えることについては課題が残った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き各種たよりの配信、配布を徹底する。 ・学校ホームページのシステム変更に伴い、PTAや同窓会、区とのリンクのページをさらに充実させる。 ・校務支援システムH&Sを活用し、学級の様子を伝える機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の各種たよりが配信、配布されており、学校の様子や教育活動の内容を知ることができている。
<p>9 教員の人材育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の職務を通して専門性と協同性の育成、教育公務員の自覚について（質問17） 	<p>◎教育公務員の自覚をもって日常の職務にあたることができている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT研修を定期的実施したり、教員同士が授業を公開したりして専門性を高める。 ・校内の年次研修を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の教員不足のニュースが気になっているが、本年度の欠員なしの状況に安心している。

<p>10 教員の働き方改革について</p> <p>・「チーム学校」を意識した業務分担等、組織的な業務の効率化・最適化について</p>	<p>◎昨年度よりも業務の効率化・最適化が図られている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き校務の効率化を図る。 ・経験年数や教員の特长を加味した分掌組織を組む。 ・業務に関する資料の整理・管理を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多忙な中、学校の雰囲気をよくしてくれて感謝している。保護者対応等、大変なこともあるかと思うが、力になれることは助けていきたい。
<p>11 服務事故防止について</p> <p>・組織的な服務事故防止について</p>	<p>◎年間を通した服務事故防止研修や日々の啓発により、組織的に服務事故防止に努めることができている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・服務事故防止研修を定期的に実施する。 ・個人情報の管理を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、服務事故防止に努めてほしい。